はじめて使う

エルネット　ハイブリッド

BUSINESS COMMUNICATION

Lnet HYBRID

あて先データ持ち込み編

Ver.1.4

はじめに・目次

はじめに

平素はFAX配信サービス Lnet HYBRIDをご利用頂き、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、Lnet HYBRID に初めて触れられるユーザー様向けに、データ準備・FAX送信・結果レポート確認までを解説しています。（Lnet HYBRIDにはとても多くの機能がありますが、よく使われる機能に絞って解説しています）

マニュアルに沿って操作して頂ければ、初めてのユーザー様でも簡単にFAX配信が行えます。ご利用の際には、一度お目通し頂きますようお願い致します。

目　　次

準備　1/4　データを準備する …… 2

準備　2/4　ログインする …… 4

準備　3/4　初期設定を行う …… 6

準備　4/4　FAX禁止番号を登録する …… 8

FAX送信 1/5　FAXを送る（１）原稿データをアップロードする …… １０

FAX送信 2/5　FAXを送る（２）宛先データをアップロードする …… １２

FAX送信 3/5　FAXを送る（３）宛先データを確定する …… １４

FAX送信 4/5　FAXを送る（４）設定を確認する …… １６

FAX送信 5/5　FAXを送る（５）FAX配信を実行する・レポートを確認する …… １８

よくある質問と回答（Q&A） …… ２０

データを準備する

L-net HYBRID でFAXを送る際には、下記のデータを準備してください。

原稿データ（FAX紙面） …… **必須**

宛先データ（FAX番号リスト） …… **必須**

FAX禁止番号データ（NG FAX番号） …… オプション（必須ではありません）

原稿データを用意する　（必須）

原稿データ（FAX紙面データ）を用意してください。下記のファイル形式・様式に対応しています。

・Adobe PDF 形式 （.PDF）[推奨]

・用紙サイズ　A4（ヨコ210mm タテ297mm）もしくは B4（ヨコ257mm タテ364mm）

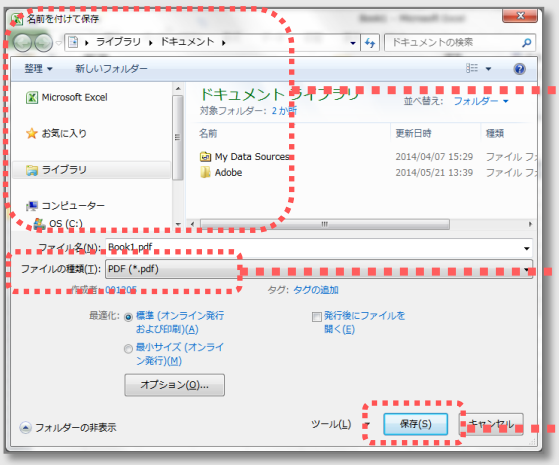
＊ 上下に15mm, 左右に10mm程の余白を確保することを推奨しています

Adobe PDF形式を推奨しています

Microsoft Word, Excel, PowerPoint 形式でご用意されている場合は、PDF形式に変換することを推奨しています。Microsoft Word, Excel, PowerPointファイルをアップロードした場合、レイアウト崩れ/フォント置換等が発生し、意図しないレイアウト・デザインになる恐れがあります。

Microsoft Office 2010/2013 から PDF形式への 変換・保存手順例

リボンメニューの
［ファイル］＞［名前をつけて保存］
を選択してください



保存場所を決めてください（デスクトップが解りやすいのでお勧めです）

ファイルの種類を
［PDF ］ に切り替えてください

［保存］ボタンをクリックして、
PDF保存を実行してください

宛先データを用意する（必須）

宛先データ（FAX番号リスト）を用意してください。下記のファイル形式に対応しています

- Microsoft Excel形式　　（.xls .xlsx）
- CSV形式（カンマ区切り）　（.csv）

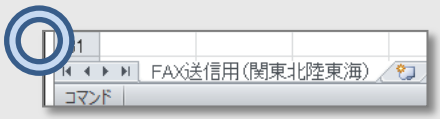
宛先データ作成のコツ

- １行目に見出し（列タイトル）を入力してください

	A	B	C	D	E
1	No.	会社名	部署名	担当者名	FAX番号
2	1	株式会社○○○○	総務部	山田　太郎	03-0000-0000
3	2	有限会社△△△△	営業部	山田　花子	06-0000-0000
	3	□□□□株式会社		日本　一郎	075-0000-0000

見出し（列タイトル）

- 複数シートを一度に送る際には、Lnet HYBRID画面上で繰り返し操作が必要になります。
  送信先データシートが複数ある場合、事前に１つにまとめることを推奨しています



- 基本的に、あて先データ（Excelファイル, CSVファイル）の全データに対してFAX送信を行う仕様となります。**Excelの「非表示」「オートフィルタ」機能を使って表示されていないデータに対してもFAX送信を行います。データ作成・準備の際にはご注意ください。**

  宛先データ（Excelファイル, CSVファイル）の一部にFAXを送りたいという場合には、事前に「送信データ部分だけを切り出した、FAX送信用のExcelファイル」を別途ご準備ください。

FAX禁止番号データを用意する　（必須ではありません）

FAX禁止番号をL-net HYBRIDに登録することが出来ます。（詳細は ▶P.8 をご覧ください）
画面上で手打ち登録、もしくはExcelファイルから流し込み登録が可能です。
Excelで流し込み登録する場合は、下記のようなデータを用意してください。

＊ FAX禁止番号　データ例：

	A	B
1	NG番号	メモ
2	03-0000-0000	株式会社○○○○　電話番号
3	075-0000-000	2015/02/05　連絡あり
4	06-0000-0000	閉店
5		

縦方向（↓）にFAX禁止番号を入力します

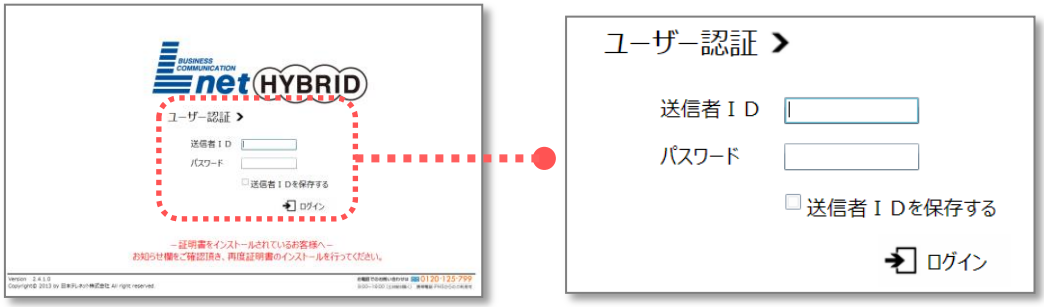
ログインする

Lnet HYBRIDにログインする

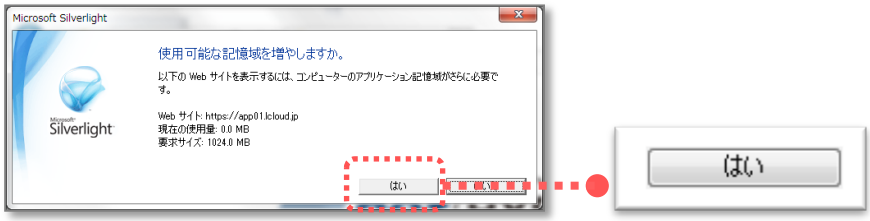
1. WEBブラウザ（Internet Explorer ）を立ち上げて、サービスページURLに接続してください

https://app01.lcloud.jp/ と入力後 **Enter↵** キーを押して下さい

2. **[送信者ID]** **[パスワード]** を入力し **[ログイン]** ボタンをクリックしてください



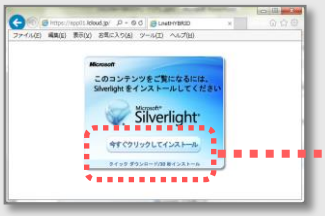
3. 『使用可能な記憶域を増やしますか』と表示されたら **[はい]** をクリックしてください



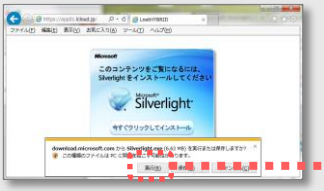
4. はじめてログインした際には、初期設定画面（送信者情報設定画面）が表示されます。併せてパスワード更新案内が表示されますので（▶P.6 ）確認の上、設定をおこなってください。

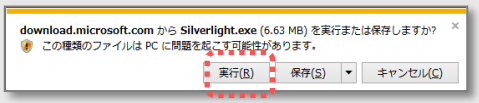
Q.『Silverlight を インストールしてください』と表示されたら？

A.『今すぐクリックしてインストール』をクリックして、
Silverlightプラグインをインストールしてください

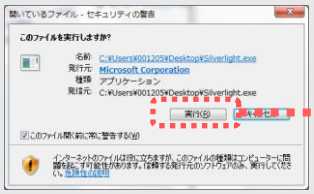


［今すぐクリックしてインストール］
をクリックします

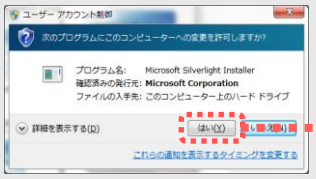




［実行(R)］ボタンをクリックします



“このファイルを実行しますか？“ とメッセージが表示されたら
［実行(R)］ボタンをクリックします。



“ユーザーアカウント制御” が表示されたら
プログラム名　　Microsoft　Silverlight　Installer
確認済みの発行元　Microsoft　Corporation
と表示されていることを確認し**［はい］ボタン**をクリックします

＊パソコンの設定によっては、管理者パスワードの入力が必要になる場合があります。
その場合は、貴社システム担当者様にご確認ください。

［今すぐインストール］をクリックします

“インストールが正常に完了しました” と表示されたら**［閉じる］ボタン**をクリックし、**ブラウザを再起動**する もしくは **キーボードのＦ５キーを押して画面を更新**します

Silverlightインストール後も同じ画面が出る場合は、よくあるお問合せ（▶P.20）をご覧ください。

初期設定を行う

はじめてログインした際には、初期設定画面（送信者情報画面）が表示されます。設定後、画面右下の**［更新］ボタン**をクリックしてください。

（* トップメニューに移動しない場合は、画面右上 ▦ アイコンをクリックしてください）

送信者情報を設定する

はじめてご利用の際には仮パスワード（4桁数字）から本パスワードへの変更手続きが必要です。本パスワードを入力してから **[パスワード更新]**をクリックしてください。　（既にパスワードを変更している場合は、この手続きは必要ありません）

8～20文字 （最低8文字）

アルファベット小文字,　アルファベット大文字,　記号，　数字　の4種類のうち3種類を使っていること

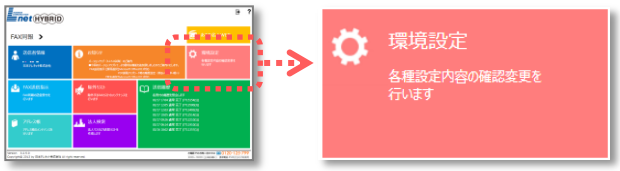
本パスワードを入力してから パスワード更新 をクリック

ログインパスワード(確認)　●●●●●●　●●●●●●　パスワード更新

設定項目	オススメ設定	説明
送信者名称	ユーザー様　会社名を入力	FAXヘッダーに印字されます (*1)
テスト原稿/FAX通知 受け取りFAX番号	ユーザー様　FAX番号を入力	数字のみ（ハイフン等記号なし）で入力してください
リトライ回数	２回～３回	相手先話中のためFAXが届かない場合の再コール回数を設定します
FAX通知	受け取る（テスト送信時は受け取らない）	送信結果レポートFAXを受信する／しないを設定します
FAX通知種別	結果レポート+不達FAX番号(１ページ目のみ)	送信結果レポートFAXの様式を設定します
メール通知	受け取る（テスト送信時は受け取らない）	送信結果レポートメールを受信する／しないを設定します
メール通知受け取りアドレス	ユーザー様　メールアドレスを入力	

*1　FAXヘッダー（用紙上端部）に印字されるデータとして利用されます。（ご注文操作時に “FAXヘッダーを印字しない設定” に切り替えることも出来ます）　必須入力項目ですので、FAXヘッダーを印字したくない場合もご入力をお願いします。

環境設定をおこなう



引き続き、トップメニュー右上の［環境設定］パネルをクリックして設定を行ってください。

下記はオススメ設定の一例です。
実際の設定・運用については、貴社社内の運用ルールをご確認の上、設定を行なってください。

設定項目	オススメ設定	説明
［宛先選択設定］ 宛先データ取り込み時に自動でFAX重複を削除する	☑ 有効	アップロードしたFAX番号データに重複があった場合、自動整理を行って重複がない状態にします
［宛先選択設定］ 宛先データ取り込み時に先頭が0でないFAX番号に自動で0を付与する	☑ 有効	アップロードしたFAX番号データに1桁目の“0”が入力されていない場合、自動で1桁目の“0”を追加します
［除外リスト］ Lnetサーバー共有	☑ 有効	除外リスト機能（FAX禁止番号登録）を有効にします。FAX禁止番号を登録できます（詳細 ▶P.8 / P.26）

? 除外リスト機能の ［ローカル蓄積］［Lnetサーバ共有］ はどう違うの？

設定	機能説明	特徴
ローカル蓄積	FAX禁止番号をPC内のSilverlightキャッシュに保存します	別PCから同じIDを使ってログインしても、FAX禁止番号を共有できません
Lnetサーバ共有	FAX禁止番号をL-net HYBRID（WEB上）に保存します	別PCから同じIDを使ってログインすると、FAX禁止番号を共有できます

※より詳細についてはP.26をご覧ください

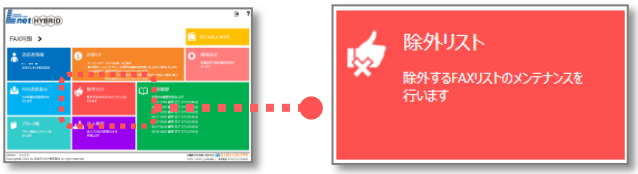
設定が完了したら、画面右下の **［更新］ボタン** をクリックして設定を保存してください
その後、画面右上の ▦ アイコンをクリックしてトップメニューに戻ってください

FAX禁止番号を登録する

除外リスト画面からFAX禁止番号を登録できます。

FAX禁止番号を登録すると、登録した番号に対して Lnet HYBRID からFAXが送れなくなります。

※ FAX禁止番号の登録は、必須ではありません。不要の場合（▶ P.10）　［FAXを送る］へお進みください



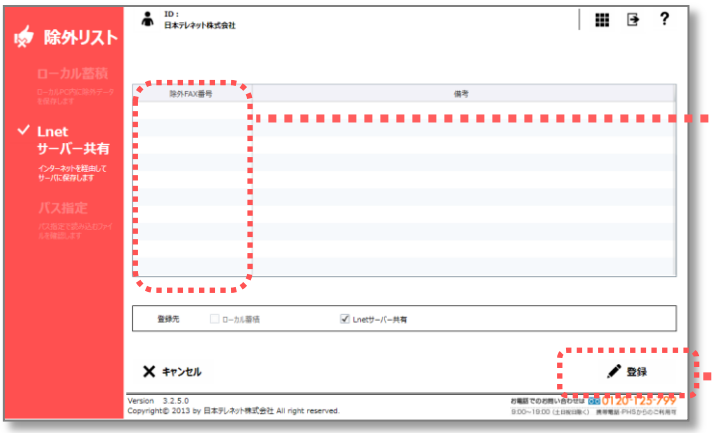
トップメニューの［除外リスト］パネルをクリックして設定をおこなってください

FAX禁止番号を画面上で入力して登録する場合

1. 除外リスト画面、下部の**［番号追加］ボタン**をクリックしてください

※登録できない場合▶P.26 を確認の上、設定をおこなってください

2. FAX禁止番号をキーボードから入力後、画面右下の**［登録］ボタン**をクリックしてください



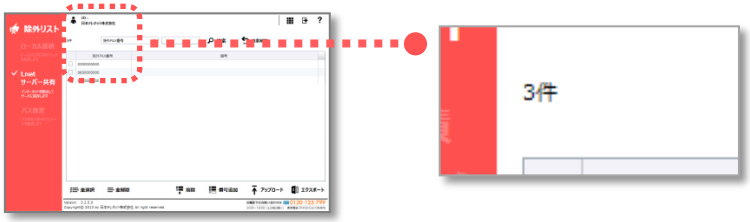
FAX禁止番号を入力します

＊ 数字のみ入力可能です

＊ － や () 等の記号は入力できません

FAX禁止番号入力後**［登録］ボタン**をクリックします

3. FAX禁止番号の登録件数を確認した後、トップメニューに戻ってください



登録件数を確認できます。

確認後は、画面右上 ▦ アイコンをクリックしてトップメニューに戻ってください。

FAX禁止番号をExcelファイルアップロードで登録する場合

1. FAX禁止番号を入力したExcelファイルを用意してください

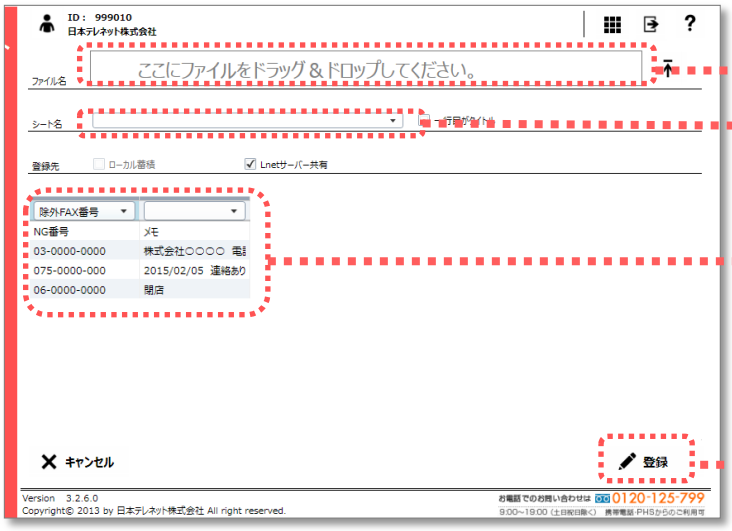
	A	B
1	NG番号	メモ
2	03-0000-0000	株式会社○○○○　電話番号
3	075-0000-000	2015/02/05　連絡あり
4	06-0000-0000	閉店
5		

縦方向（↓）にFAX禁止番号を入力します

2. 除外リスト画面、下部の**［アップロード］ボタン**をクリックしてください

※登録できない場合▶P.26 を確認の上、設定をおこなってください

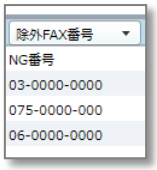
3. Excelファイルをドラッグ＆ドロップして登録処理をしてください



Excelファイルをドラッグ＆ドロップします

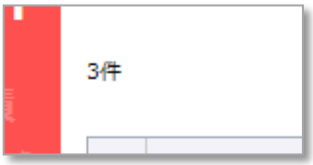
Excelシート名を確認します

FAX禁止番号が入力されている列を“除外FAX番号” に割り当てます



［登録］ボタンをクリックします

4. FAX禁止番号の登録件数を確認した後、トップメニューに戻ってください



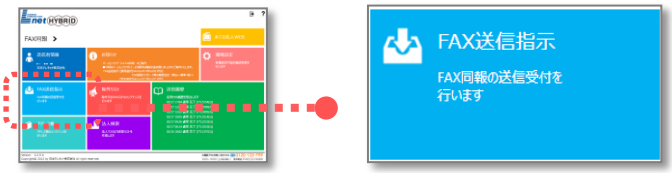
登録件数を確認できます。
確認後は、画面右上 ▦ アイコンをクリックしてトップメニューに戻ります

FAXを送る（１） 原稿データをアップロードする

実際にFAXを送ってみましょう。

原稿データ(PDF形式を推奨）、宛先データ（Excel, CSV形式）を準備してから操作を行います。

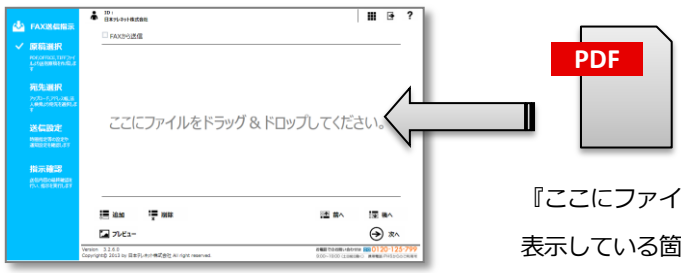
※ データ形式・準備の仕方については P.2　データを準備する　をご覧ください。



トップメニューの［FAX送信指示］パネルをクリックしてFAX送信画面に移動してください

原稿データ（PDF形式）をアップロード

1. 原稿データ（PDF形式を推奨）を画面内にドラッグ＆ドロップしてください



『ここにファイルをドラッグ＆ドロップしてください』と表示している箇所に、原稿データをドラッグ＆ドロップします

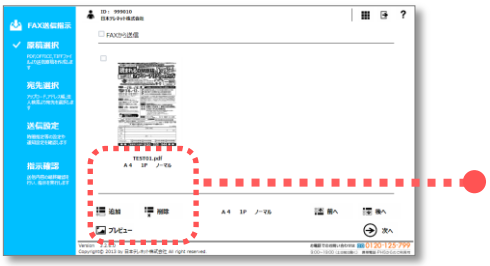
2. アップロード設定を選んでから**［変換］ボタン**をクリックしてください

サイズ：　A4 , B4 のいずれかを選びます

画質　：　ノーマル , ファインのいずれかを選びます(*1)

輝度　：　普通 を選びます (*2)

3. アップロード内容を確認後、画面右下の**［次へ］ボタン**をクリックして原稿を確定してください



TEST01.pdf
A 4　1P　ノーマル

プレビュー

紙面イメージを画面上で確認できます

アップロード内容を確認後**［次へ］ボタン**をクリックします

*1　ノーマル…通常画質　ファイン…精細画質　料金が異なります。またファインは容量が大きくなるため通信時間が長くなります

*2　原稿データによっては、明るい または　暗い を選んだ方が見栄えがよくなる場合があります。都度ご確認の上選択してください

原稿アップロードに関する、よくある質問と回答

Q. Excel ファイルをアップロードしたら、1枚用紙のはずが3枚用紙になってしまった

Q. PowerPoint ファイルをアップロードしたら、特定の文字が消えてしまう

Q. Word / Excel / PowerPoint ファイルをアップロードしたらレイアウトが崩れる

Q. Word / Excel / PowerPoint ファイルをアップロードしたら “混雑しています（ｴﾗｰｺｰﾄﾞ -3000)”と表示される

A. PDF形式で保存しなおしてから、PDFファイルをアップロードしてください

Microsoft Office （Word / Excel / PowerPoint）ファイルをアップロードした場合、ファイルの仕様から上記のような事象が発生する場合があります。
Microsoft Office ファイルから PDF ファイルに変換保存の上、PDFファイルをアップロードすることで上記のような事象を回避することができます。

* Microsoft Office から PDFファイルへの保存方法・操作については［データを準備する］(▶ P.2) をご覧ください

Q. 原稿ファイルを複数アップロードすることはできますか？

A. はい、可能です。アップロードした順にセット・FAX送信されます

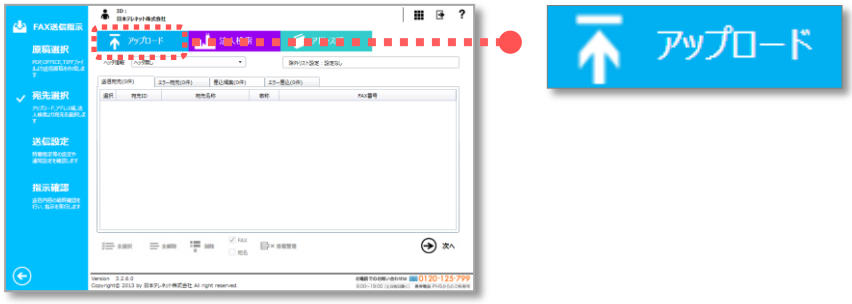
複数ファイルのアップロードは可能ですが、複数ファイルを一度にまとめてアップロードすることはできません。FAX原稿が複数ファイルある場合は 「順番に」「１ファイルずつ」アップロードしてください。

FAXを送る（2） 宛先データをアップロードする

宛先データ（FAX送信先リスト）設定は、 Excel / CSV ファイルのアップロードがもっとも簡単です。

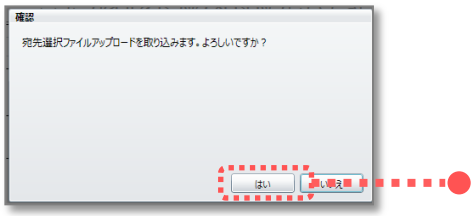
宛先データ（Excel形式）をアップロード

1. **［アップロード］ボタン**をクリックしてください



2. 宛先データを画面内にドラッグ＆ドロップしてください

『ここにファイルをドラッグ＆ドロップしてください』と表示している箇所に、宛先データをドラッグ＆ドロップします



メッセージ『宛先選択ファイルを読み込みます。よろしいですか？』
［はい］ボタンをクリックします

メッセージ『宛先選択ファイルアップロードの取り込みが完了しました』
［はい］ボタンをクリックします

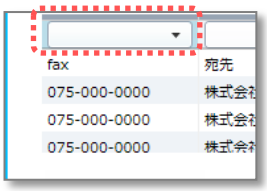
アップロードしたExcelファイル名、シート名が表示されるので確認します。シート名は切り替え選択できますので、場合に応じて選択してください。

3. FAX番号割り当て設定を行ってください

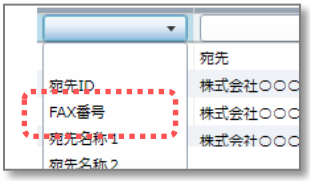
アップロードしたExcelファイルの一部が表示されます（頭出し）

FAX番号が入力されている列を選択し**［FAX番号］を割り当てます**

クリック



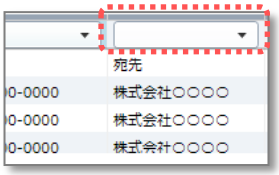
［FAX番号］を選択



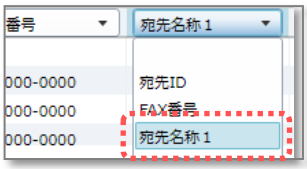
［FAX番号］の割り当てが完了しました

4. 宛先名称 の割り当て設定、敬称設定を行ってください

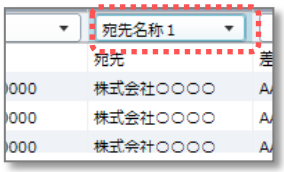
クリック



［宛先名称１］を選択



［宛先名称１］の割り当てが完了しました



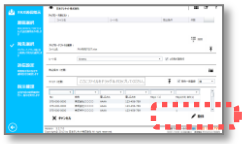
［敬称一括登録］を設定します（標準では ［様］ に設定されています）

- 様/殿/御中/先生/各位の中から選択します
- 敬称一括登録を使わない場合はチェックを外します

（補足説明）宛先名称 の割り当て設定・敬称設定について

- 宛先名称の割り当て設定・敬称設定は「必ずしなければいけない」というものではありません
- 宛先名称の割り当て設定・敬称設定を行うと［FAX用紙ヘッダー］ ［送信結果レポート］に反映されます（ FAX用紙ヘッダー ▶ P.15　送信結果レポート ▶ P.19 ）
- 宛先名称は最大５つまで割り当て設定可能です

5. **［登録］ボタン**をクリックし、宛先データアップロードを完了してください

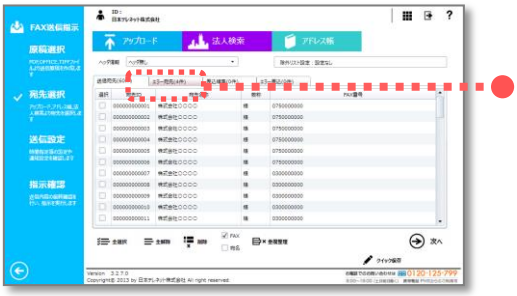


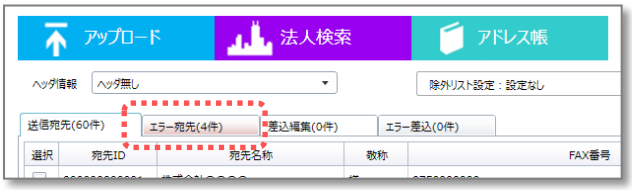
FAXを送る（3）宛先データを確定する

宛先データ（FAX送信先リスト）アップロード・FAX番号割り当て設定を完了すると、宛先データ一覧が表示されます。内容を確認し、宛先データを確定しましょう。

FAX送信できないデータ一覧を確認する

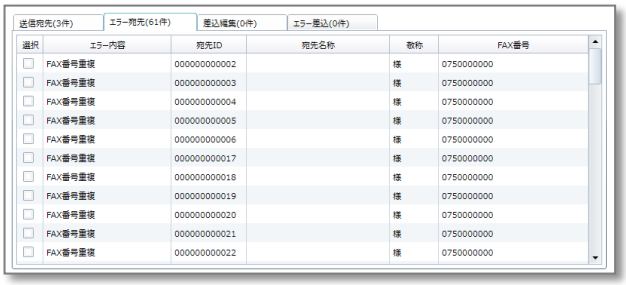
1. **［エラー宛先］タブ**をクリックしてください





2. FAX送信できないデータの一覧（エラー宛先）が表示されるので、内容を確認してください

“エラー内容” 欄に「FAX送信できない理由」が表示されます。



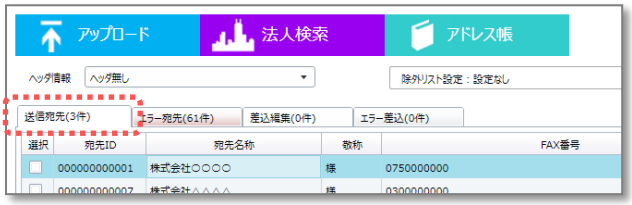
よく表示される理由	詳細	解決方法
FAX 番号未定義	FAX番号が入力されていないレコードです	FAX番号を入力します
FAX 番号桁数異常/市外局番異常	FAX番号入力が正しくありません	内容を確認、訂正します
送信対象外（除外リスト）	FAX禁止番号に該当しました	—

（補足説明）FAX送信できないデータ（エラー宛先）について

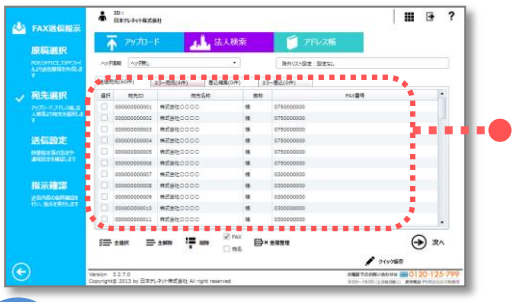
- エラー宛先タブに表示されているデータは、FAX送信出来ない対象です。
  “FAX送信されなくて問題ない” という場合は、特に処理をする必要はありません
- エラー宛先タブに表示されているデータを編集してFAXを送りたい場合、元データを修正した上、トップメニューに戻って操作を最初からやり直すことを推奨しています

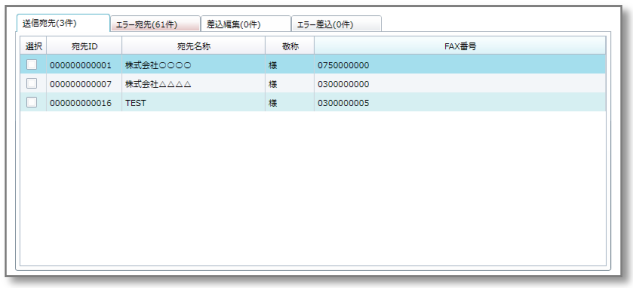
FAX送信対象のデータ一覧を確認する

1. **[送信宛先] タブ**をクリックしてください



2. FAX送信対象のデータ一覧（送信宛先）が表示されるので、内容を確認してください





! ［重複整理］機能について

Lnet HYBRID には「同じFAX番号データ複数ある」場合、データを整理整頓する機能があります。

宛先FAX番号	宛先名
03 XXXX 0001	株式会社○○○○　御中
03 XXXX 0001	（株）○○○○御中
03 XXXX 0002	有限会社△△△△　御中
03 XXXX 0002	（有）△△△△　御中

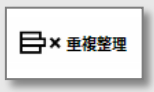
重複整理を実行

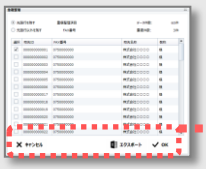
宛先FAX番号	宛先名
03 XXXX 0001	株式会社○○○○　御中
03 XXXX 0002	有限会社△△△△　御中

つぎの操作でFAX番号重複データの整理整頓を行えます

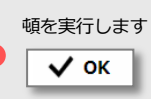
＊［環境設定］で自動重複整理を有効していた場合、自動的にFAX番号重複データの整頓が行われます　（▶ P.7 ）

[重複整理]ボタンをクリック





[OK]ボタンクリックで FAX番号重複データの整頓を実行します



3. **[ヘッダ情報]**を設定した後、画面右下の**[次へ]ボタン**をクリックして宛先データを確定してください

FAXのヘッダ（頭部分）に印字される情報を選択します

日付　/　送信者名　/　受信者名（送り先宛名）/ページ数

または　ヘッダ印字なし

[次へ]ボタンをクリックします

FAXを送る（4）設定を確認する

原稿・宛先を確定したら、FAX送信の設定を確認します。

設定を行う、確認する

設定項目	説明
通知FAX	［テスト送信FAX］（▶ P.17 ）［送信結果レポート］（▶ P.19 ）の送り先FAX番号です。 一時的に変更したい場合は ［変更する場合］に直接入力してください。
FAX通知種別	送信結果レポート設定です。［送信者情報］メニューから変更可能です。 * [送信者情報]メニューを表示するためにはトップメニューへ戻る必要があります その際、[FAX送信指示]で設定した原稿・宛先情報はすべて消去されます
リトライ回数	相手先話中のためFAXが届かない場合の再コール回数です。 一時的に変更したい場合は、画面上で変更してください。
通知メール	送信結果レポート 送信先メールアドレスです。［送信者情報］メニューから変更可能です。 * [送信者情報]メニューを表示するためにはトップメニューへ戻る必要があります その際、[FAX送信指示]で設定した原稿・宛先情報はすべて消去されます
送信メモ	メモを入力できます。 入力内容は［送信結果レポート］（▶ P.19 ）に反映されます。
時間指定	送信スタート日時の予約機能です。チェックオン ☑ 状態にすると日時予約を行えます。チェックオフの状態では即時スタートとなります。（予約後のキャンセル手順については▶P.23をご覧ください） * [テスト送信]（▶ P. 17 ）は予約チェックオン/オフにかかわらず、3分～5分程度でのお届けとなります

設定内容を確認した後、画面右下の**[次へ]ボタン**をクリックして設定内容を確定してください。

送信前のチェック（設定確認・テスト送信）を行う

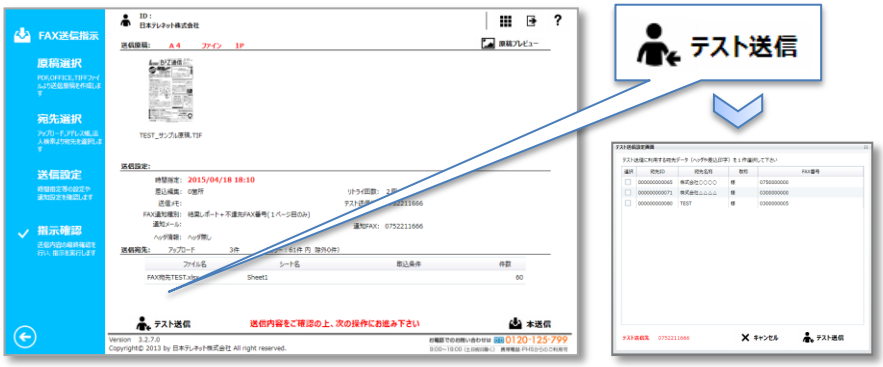
1. 原稿, FAX送信時の各種設定, 宛先データ件数を確認してください

送信時の各種設定項目と、
送信宛先件数を確認します

2. ［テスト送信］ボタンをクリックし、テスト送信機能を使ってFAX原稿を確認してください

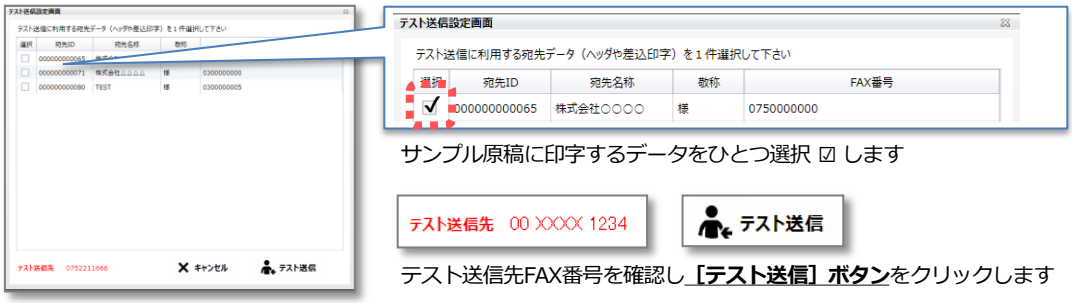
［テスト送信］機能とは？

サンプル原稿を、ユーザー様のFAX機に送信する機能です。(実際の配信宛先には送られません)
サンプル原稿は実際に使われる原稿そのままですから、内容チェックに最適です。



［テスト送信］ボタンをクリックします

テスト送信確認ウィンドウが表示されます



サンプル原稿に印字するデータをひとつ選択 ☑ します

テスト送信先 00 XXXX 1234　テスト送信

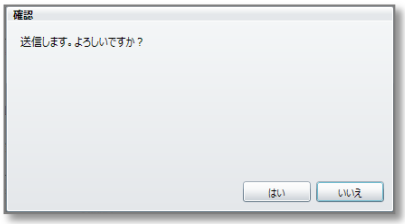
テスト送信先FAX番号を確認し**［テスト送信］ボタン**をクリックします

受付番号が表示されればテスト送信成功です。
メッセージ表示後、通常3分～5分ほどでテスト送信先FAX番号にサンプル原稿が届きます。しばらくお待ちください。

FAXを送る（5）FAX配信を実行する・レポートを確認する

FAX配信を実行する

テスト送信・サンプル原稿確認後、内容に間違いがなければ本送信（注文確定）を行います。



メッセージ『送信します。よろしいですか？』が表示されます。

よければ **[はい] ボタン**をクリックします。

（［いいえ］ボタンを押すと取りやめることができます）

受付番号が表示されれば、FAX配信注文受付完了です。

時間指定（予約機能 ▶P.16）をオンにしていた場合、予約注文完了となります。

時間指定をオフにしていた場合、手続き完了後即時送信スタートとなります。

[OK] ボタンをクリックするとトップメニューに移動します

以上で操作完了です。

FAX配信が完了すると、初期設定で設定したメールアアドレス　またはFAX宛てに送信結果レポートをお届けします。　しばらくお待ちください。

送信結果レポート（不達通知）の見かた

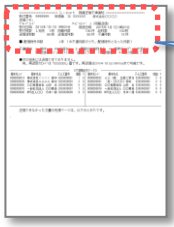
送信結果レポート（メール）

```
◆◆◆◆◆◆◆　　Ｌ－ｎｅｔ　送信結果通知　　◆◆◆◆◆◆◆

【受付日時】　　2015/01/01 09:00:00
【受付番号】　　9999999
【送信者ＩＤ】　　XXXXXX
【送信者名称】　　株式会社○○○○
【送信メモ】
【送信区分】　　あてな名人

下記の通り送信が完了しました。
==========================================
【サービスコード】　1（同報送信）
【グループコード】
【送信開始時間】　　2015/01/01 09:00:15
【送信先件数】　　1
【原稿サイズ】　　Ａ４
【原稿モード】　　ノーマル
【受付枚数】　　1
【到達件数】　　90
【不達件数】　　10
【送信済枚数】　　90

●再送信は 1月 8日 9時10分まで可能です。
```

表示内容	詳細
受付枚数	FAX原稿のページ数（1宛先あたりの送信ページ数）
到達件数	全ページ到達したあて先件数
不達件数	全ページ到達しなかったあて先件数
送信済枚数	到達したFAX用紙 総枚数

＊ 送信結果レポート（メール）には、到達あて先 / 不達あて先の詳細や、FAXが届かなかった理由を表示していません。
詳細を確認したい場合はLnet HYBRID トップメニュー［送信履歴］よりご確認ください。

送信結果レポート（FAX）



```
====================== Ｌ－ｎｅｔ　同報送信不達通知 =======================
受付番号　9999999　　発信者　ID XXXXXX　　株式会社○○○○
送信メモ：
ｸﾞﾙｰﾌﾟｺｰﾄﾞ　　ｻｰﾋﾞｽｺｰﾄﾞ　1（同報送信）
受付日時　2015年 1月 1日 9時00分　　発信日時　2015年 1月 1日 9時01分
受付枚数　1宛先　1枚　同報件数　　100件　総枚数　　100枚
送信済枚数　　90枚　送信済件数　　90件　不達件数　　10件

■ 配信除外件数　　1件（※不達件数のうち、配信除外となった件数）

不達理由　1- 話中　2- FAX応答なし　3- 電話の可能性あり　4- 音声ガイダンスが流れた
　　5- 送信中タイムアウト　6- 通信エラー　7- 配信除外　9- その他のエラー
```

表示内容	詳細
受付枚数	FAX原稿ページ数
同報件数	送信あて先件数
総枚数	送信総枚数（あて先件数 × FAX原稿ページ数）
送信済枚数	FAX到達枚数
送信済件数	FAXが全ページ到達したあて先件数
不達件数	FAXが全ページ到達しなかったあて先件数
配信除外件数	不達件数のうち、配信除外に該当した件数
不達理由　1 - 話中	通話中（相手先がFAX通信中/電話通話中）
2 - FAX応答なし	呼び出し中が続いた。相手先が着信をとってくれない。
3 - 電話の可能性あり	相手先が着信をとってくれたがFAX通信を始めることができなかった
4 - 音声ガイダンスが流れた	通信キャリアガイダンス（現在使われておりません等）が流れた
5 - 送信中タイムアウト	FAX通信中に通信が途絶えたため切断された
6 - 通信エラー	FAX通信中にエラーが発生した
7 - 配信除外	Lnet NG FAX番号 に該当した（▶P.25）
9 – その他のエラー	異常信号・強制キャンセル等 上記以外の理由

＊ 不達理由はFAX配信システムで自動判定したものを記載しています。100%の精度を保証するものではございません。
予めご了承の程お願い申し上げます。

Silverlightインストール後も『Silverlightをインストールしてください』と表示される。

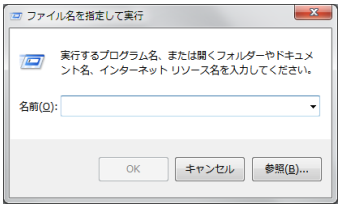
パソコンの環境・設定によってLnet HYBRIDが起動しない
可能性があります。
下記の順番でパソコンの環境・設定内容を確認してください。

1. OSバージョン・お使いのブラウザを確認してください

「Windows 7 だと思っていたら、知らないうちにWindows 10になっていた」
といった例が多数ございます。Windows 10でのご利用には、別途操作が必要となります。
念のため、下記の手順でOS・バージョンのご確認をお願い致します。

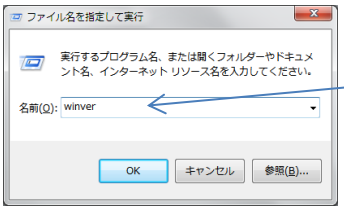
OS・バージョン 確認方法

① キーボードの左下の キーを押しながら キーを押します。

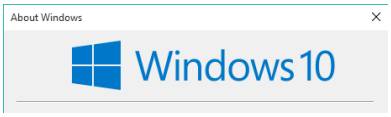


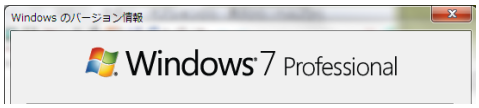
“ファイル名を指定して実行” ウィンドウが
表示されます。

② Winver と入力し、OKボタンをクリックしてOS・バージョンを確認します



Winver と入力





Windows バージョン情報が表示されます
バージョン情報を確認後、▶P.21 の案内にそって操作してください

ブラウザ確認方法

ブラウザのアイコンを確認してください

Microsoft Edge
マイクロソフト エッジ

Google Chrome
グーグル クローム

Internet Explorer
インターネット・エクスプローラ

Windows 10 をご利用の場合

次のブラウザでは動作致しません。Internet Explorer を別途起動してください。
Internet Explorerの起動手順はこのページ下部の “Internet Explorer 起動方法” をご確認ください。

- ✕ Microsoft Edge / Windows10 標準ブラウザ
- ✕ Google Chrome
- △ Firefox / 2016年中にSilverlightのサポートをとりやめ予定

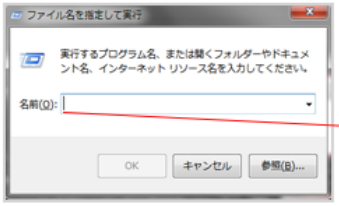
Windows 7 / 8 / 8.1 をご利用の場合

次のブラウザでは動作致しません。Internet Explorer を別途起動してください。
Internet Explorerの起動手順はこのページ下部の “Internet Explorer 起動方法” をご確認ください。

- ✕ Google Chrome
- △ Firefox / 2016年中にSilverlightのサポートをとりやめ予定

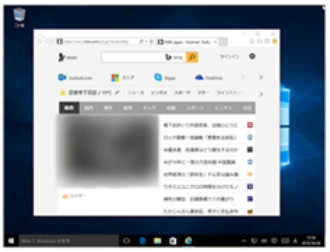
Internet Explorer 起動方法

キーを押しながら R す キーを押し『ファイル名を指定して実行』を表示します

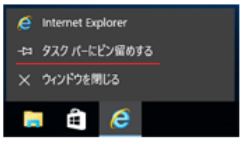


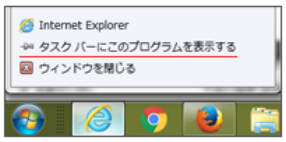
名前(O): iexplore

iexplore と入力し OK をクリックします



Internet Explorerが起動します
タスクバーの アイコンを右クリックして
『タスクバーにピン留め』（タスクバーに表示）すると
次からはタスクバーから起動できて便利です





▶ P.4 Lnet HYBRID にログインする にそって操作してください
Internet Explorer を使ってもLnet HYBRID が表示されない場合 ▶P.22 に進んでください

2. パソコンの設定を確認してください

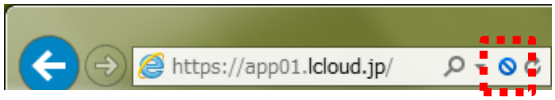
Internet Explorer で接続しても『Silverlightをインストールしてください』と表示される場合Silverlightの動作が禁止されている可能性があります。環境・設定を確認し、必要に応じて設定の変更をおこなってください。

⚠ システム担当者様（システム管理部門）に設定変更してもよいか、確認してください

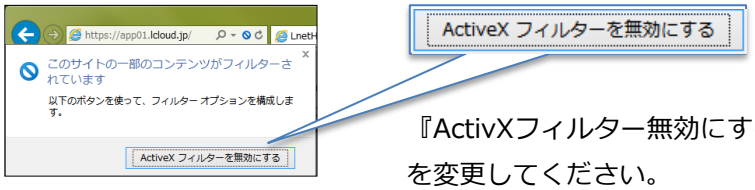
● ActivXフィルタ設定

Internet Explorer で Lnet HYBRID ログインページに接続し『Silverlightをインストールしてください』と画面に表示されている状態にしてください

Internet Explorer上部のURLバーに マークが表示されいる場合、ActivXフィルタによりSilverlight がブロックされています。



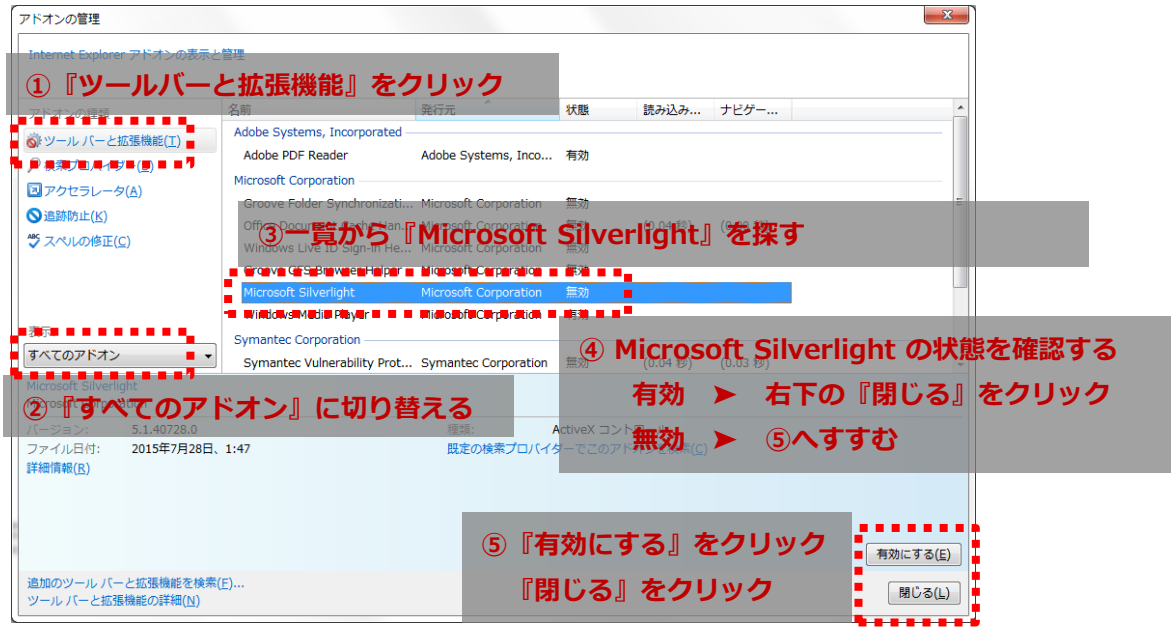
マークをクリックして設定画面を呼び出してください



『ActivXフィルター無効にする』ボタンをクリックし、設定を変更してください。

● アドオン管理設定

Internet Explorer 右上の マークをクリック『アドオンの管理』を選択してアドオンの管理ウィンドウを表示してください。その後、下記の①②③④⑤にそって確認してください。

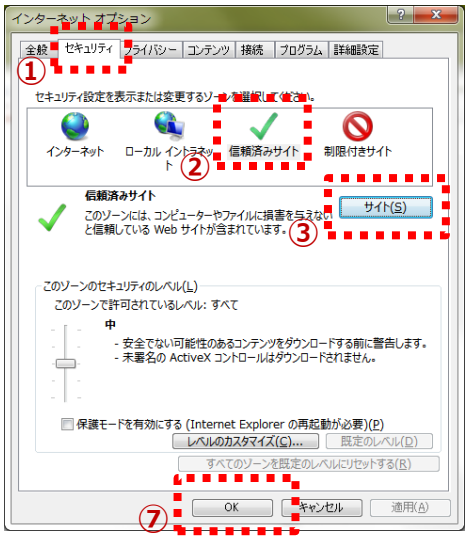


➤ 次のページに続きます

◀ 前のページからのつづき

● 信頼済みサイト設定

Internet Explorer 右上の ⚙ マークをクリック『インターネットオプション』を選択してインターネットオプション画面を表示してください。



・インターネットオプション

①『セキュリティ』をクリックしてください

②『信頼済みサイト』をクリックしてください

③『サイト』ボタンをクリックしてください

『信頼済みサイト』ウィンドウが表示されます

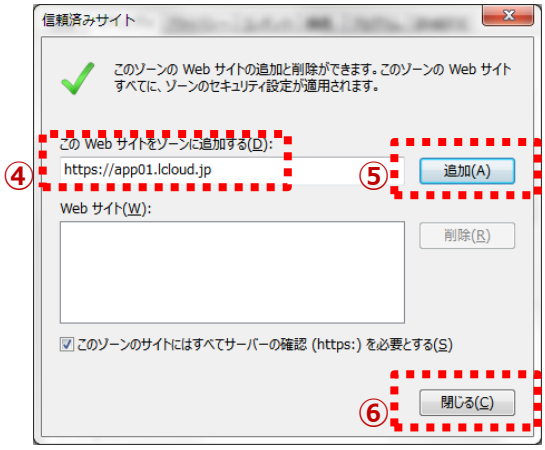
・信頼済みサイト

④ Lnet HYBRID サービスページURLを入力（もしくは貼り付け）してください

https://app01.lcloud.jp

⑤ 『追加』ボタンをクリックしてください

⑥『閉じる』ボタンをクリックしてください



・インターネットオプション

⑦『OK』ボタンをクリックしてください

▶ P.4　Lnet HYBRID にログインする にそって操作してください

FAX予約（時間指定受付）のキャンセル・取り止めをしたい

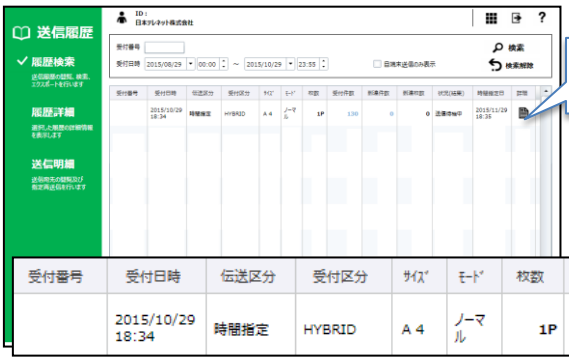
トップメニュー［ 送信履歴 ］からキャンセル可能です。

＊ 配信スタート時刻の5分前になると画面からキャンセル処理ができなくなります
余裕をもって操作頂けますようお願い致します

1. トップメニュー左下の［ 送信履歴 ］パネルをクリックしてください

パネルをクリックしても反応がない場合、パネルの真ん中あたりをクリックしてください。

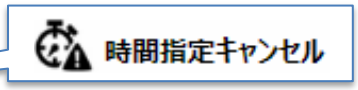
2. キャンセルする予約注文受付の詳細 アイコンをクリックしキャンセルを実行してください



予約受付票（予約受付通知）記載の受付番号と、画面の受付番号を照らし合わせてから アイコンをクリックしてください。

受付番号	受付日時	伝送区分	受付区分	ｻｲｽﾞ	ﾓｰﾄﾞ	枚数	受付件数	到達件数	到達枚数	状況(結果)	時間指定日	詳細
	2015/10/29 18:34	時間指定	HYBRID	A 4	ノーマル	1P	130	0	0	送信待機中	2015/11/29 18:35	

詳細画面に遷移します。
画面下部の『時間指定キャンセル』が
送信予約キャンセル（取り消し）ボタンです。



『時間指定キャンセル』ボタンを押すと確認画面が表示されます。
右下の『指示送信』ボタンを押すと送信予約キャンセル（取りやめ）が行われます。

送信結果レポートにのっている　不達理由「配信除外」とはどういうものですか？

Lnet サービスの NG FAX番号フィルタ に該当したものです。
Lnetサービスからは FAX送信できません。
仕組み、詳細については、下記の例図をご覧ください。

L-netサービス NG FAX番号フィルタとは？

L-net （FAX送信サービス）のシステム側で用意されいているNG FAX番号データです。
NG FAX番号に登録されている宛先には、L-net　ではFAXを送ることができません。

FAX番号の所有者（受けて側）から拒否の連絡を弊社（日本テレネット）が受けた場合に追加されます。また、FAX到着率が極端に低い場合にNGFAX番号フィルタに追加されることがあります

L-netサービス NG番号フィルタの動作例

100
送信対象 100件

L-net HYBRIDを使って FAXを送信
送信対象　100　件

L-net サービス NG FAX番号フィルタに該当
配信除外 10件 発生

送信対象 90 件

FAX送信スタート
送信対象　90　件

到着 70件 不着 20

FAX送信結果
90件中　……　到着　70件　/　不着　20件

送信結果

100
到着 70件 不着 20 10

配信除外（L-netサービスNG FAXフィルタに該当）

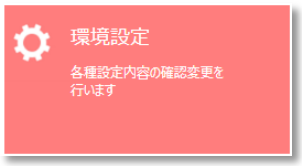
送信対象件数　……　100件
不達件数　……　30件
うち 配信除外 10件

※不達通知（送信結果レポート）には 不着＋配信除外 が
不達件数（30件）として表示されます

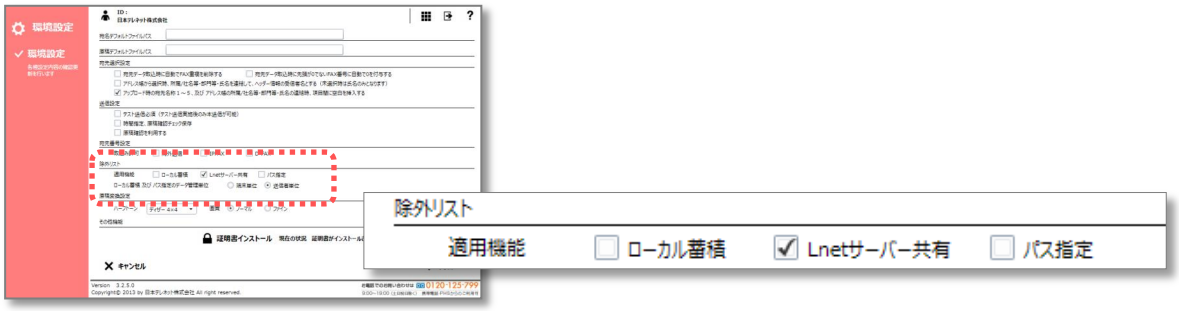
除外リスト（FAX禁止番号）機能が使えません。FAX禁止番号が登録できません。

環境設定画面より、機能を有効にする操作・手続きが必要です。
下記の手順で設定を行ってください。

1.　トップメニュー の 環境設定パネルをクリックします



2.　環境設定画面の　「除外リスト」　設定を確認します



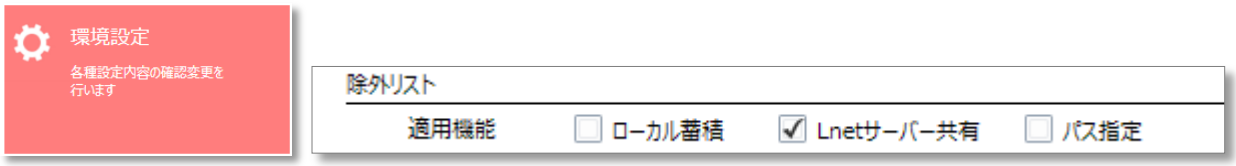
・ローカル蓄積
・L-netサーバー共有
・パス指定
の全てにチェックが入っていない場合、除外リスト機能はオフになっています。

上記の３つのうちのどれかのチェック ☑ を入れた後、画面右下の [更新] ボタンを押すと
除外リスト機能を使うとこができるようになります。
※ L-netサーバー共有 設定をオススメしています

設定内容の詳細については▶P.27 をご覧ください

除外リスト（FAX禁止番号）機能の違いについて

除外リスト機能には 「ローカル蓄積」「L-netサーバー共有」「パス指定」 の３種類の
設定機能があります。それぞれの違い（メリット、デメリット、特徴）を詳しくご案内致します。



	ローカル蓄積	L-netサーバー共有	パス指定
特徴	**FAX禁止番号（除外リスト）をパソコン内のSilverlightキャッシュ上に保存します。** ・同一アカウント(送信者ID)を使って複数の担当者がLnet HYBIDを使う FAX禁止番号を担当者間で共有したくない という場合に最適です。	**FAX禁止番号をLnet HYBRIDサービス上(WEBサーバー上) に保存します。** ・Lnet HYBRIDを使う担当者がひとり または ・同一アカウント(送信者ID)を使って複数の担当者がLnetHYBRIDを使う。 FAX禁止番号を担当者間で共有したい という場合に最適です。	**Excel /CSV ファイルをFAX禁止番号ファイルとして指定、設定します。** FAX禁止番号の管理を常にファイル上で行いたい という場合に最適です
登録方法	・Lnet HYBRID画面上からの手入力 ・Lnet HYBRID画面上からExcel/CSV一括流し込み登録	・Lnet HYBRID画面上からの手入力 ・Lnet HYBRID画面上からExcel/CSV一括流し込み登録	設定したExcel /CSVファイルに入力
メリット	—	・FAX禁止番号を共有利用できる ・WEBサーバ上に保存される (*注)	データ管理を自社内で行える
デメリット	・(FAX禁止番号を共有したい場合でも)複数担当者間でデータ共有利用ができない ・Silverlightキャッシュ上に保存されている為FAX禁止番号が何かのきっかけで削除される可能性がある / PC高速化ソフトの影響でデータが消える / PCの設定変更（Windowsユーザ設定）の影響でデータが消える / Silverlightキャッシュクリア処理でデータが消える	・(FAX禁止番号を共有したくない場合でも)複数担当者間でデータ共有利用ができる	・ファイルパス、ファイル名Excelファイル内シート名が変わるとLnet HYBRID上で再設定が必要になる

*注　WEBサーバー上に保存されたFAX禁止番号（除外リスト）については、弊社にてデータの確実な保全を保証するものではありません。
エクスポート機能（Excel形式 保存機能）をご利用の上、定期的にバックアップをお取りください。

分からないことがあったら … オンラインマニュアル・サポートセンターのご案内

オンラインマニュアル

画面右上 **［?］アイコン** からオンラインマニュアルをご覧いただけます。ピンポイントで「この機能の使い方を知りたい」という場合にご利用ください。

サポートセンター

サポートセンターにてLnet HYBRID操作方法の他、サービス全般についてお問合せを承っています。

Ｌｎｅｔ センター　**［フリーダイヤル］　０１２０ ― １２５ ― ７９９**

＊受付時間　：　平日　９：００　～　１９：００　（土日祝・年末年始を除く）

＊上記時間外で緊急のご連絡の際には ０７５ ― ２１１― ３４４１（本社代表）までお問合せください

- 本マニュアルの著作権は日本テレネット株式会社が保有しています。
- 本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。
- 本マニュアルに記載されている内容の無断転載・複製・転用を禁じます。
- サービスアップデート（バージョンアップ）等に伴い、本文中の内容（画像含む）は予告なく変更される場合があります。

Ver. 1.4　2016/06/02

BUSINESS
COMMUNICATION
net
HYBRID